

社会人の学び直しにむけた専修学校教育の拡大・強化可能性について【資料編】

【資料1】 河原学園専修学校（専門課程）9校における社会人学生比率と給付金利用率
 (2016年5月31日現在 ※以下同様)

学校名	修業年限	社会人 学生比率	社会人 学生 給付金 利用率
河原電子ビジネス専門学校	2-4年制	0.0%	0.0%
河原アイペットワールド専門学校	2年制	0.0%	0.0%
河原デザインアート専門学校	2年制	3.6%	75.0%
河原ビューティモード専門学校	2年制	3.6%	0.0%
河原医療大学校	2-4年制	18.3%	3.3%
河原ITビジネス専門学校	2年制	6.7%	0.0%
大原簿記公務員専門学校愛媛校	1-4年制	1.6%	33.3%
河原医療福祉専門学校	2-3年制	27.9%	23.0%
河原パティシエ・医療・観光専門学校	2年制	0.0%	0.0%
全体		11.4%	14.7%

※〈社会人〉とは、退職者・在職者の両方を含むものとする（以下同様）。

※〈社会人学生比率〉とは、学校ごとに在学者総数に対する社会人学生数の比率を算出したもの。

※〈社会人学生給付金利用率〉は、学校ごとに社会人学生のうち給付金利用者の比率を算出している。ただし、給付金申請・支給の手続きが学校事務を経由し、学校側で把握できた人数のみを算入している。

【資料2】 医療・福祉系専門学校における学科別社会人学生比率・平均年齢・給付金利用率

・河原医療大学校

学科名	修業年限	目標職種	社会人学生比率	社会人学生平均年齢	社会人学生給付金利用率
看護学科	4年制	看護師	30.4%	27.2	0.0%
理学療法学科	4年制	理学療法士	21.0%	25.8	0.0%
作業療法学科	4年制	作業療法士	24.3%	26.7	0.0%
歯科衛生学科	3年制	歯科衛生士	11.3%	26.2	27.3%
歯科技工学科	2年制	歯科技工士	23.1%	22.2	16.7%
診療情報管理学科	3年制	診療情報管理士	9.5%	21.0	0.0%
全体			23.9%	26.5	2.6%

・河原医療福祉専門学校

学科名	修業年限	目標職種	社会人学生比率	社会人学生平均年齢	社会人学生給付金利用率
介護福祉科	2年制	介護福祉士	26.4%	38.5	89.5%
社会福祉メディカルソーシャル科	3年制	社会福祉士等	2.1%	42.0	0.0%
こども未来科	2・3年制	保育士資格・幼稚園教諭	10.0%	26.8	0.0%
柔道整復師科	3年制	柔道整復師	25.5%	32.4	10.5%
鍼灸師科	3年制	鍼灸師	51.9%	37.2	12.5%
全体			27.9%	35.1	23.0%

※〈社会人学生比率〉とは、学科ごとに在学者総数に対する社会人学生数の比率を算出したもの。

※〈社会人学生給付金利用率〉は、学科ごとに社会人学生のうち給付金利用者の比率を算出している。ただし、給付金申請・支給の手続きが学校事務を経由し、学校側で把握できた人数のみを算入している。

【資料3】 介護福祉科における専門課程と付帯事業の社会人受講状況比較

教育プログラム	対象者	取得できる権利	教育内容	受講時間数	施設実習	学費・受講料	社会人学生数・受講者数	備考
専修学校 専門課程 (介護福祉科)	おもに高卒(相当も含む)以上の未経験者(未経験者は介護福祉士国家試験受験に必須)	介護福祉士受験資格取得	〈人間と社会〉、〈介護〉、〈こころからだのしくみ〉の三領域に加えて〈医療的ケア〉を体系的に教育する。	1,487時間(2年制)	472時間 (左記の受講時間数に含まれる)	約200万円	2016年度:19名(退職者) (介護福祉科 全在校生72名)	19名中17名が厚生労働省職業訓練受講給付金受給者(月額10万円支給) ※厚生労働省「職業訓練受講給付金(求職者支援制度)」本人収入月8万円以下、世帯全体収入月25万円以下、世帯全体金融資産300万円以下等の条件に合致する必要がある。 【課題】 実習も含め最も体系的で充実した教育が提供できるが、在職中の在学は困難である。入学のためには退職し、卒業後の再就職を目指す必要がある。
介護技術講習会	介護実務経験3年以上で、介護福祉士国家試験の実技試験免除希望者	介護福祉士資格実技試験免除	介護分野に限定して、実技演習と介護課程の講義のみ	32時間(4日間)	なし	62,550円	2014年度:179名 2015年度:156名 ※99%程度が介護職在職者(一部高校生)	介護福祉士養成施設に限定して開講できる。 2015年度から介護福祉士実務者研修制度に移行。
介護福祉士実務者研修	介護実務経験3年以上で、介護福祉士国家試験受験希望者(実務者は受験に必須)	介護福祉士受験資格取得	〈人間と社会〉、〈介護〉、〈こころからだのしくみ〉の三領域に加えて〈医療的ケア〉を体系的に教育する。	①通信課程454時間 ②集合研修49時間(6日間) 合計 503時間	なし	16万円 ※他の資格取得状況により個人差あり	2016年度:37名 ※全員介護職在職者	【課題】 介護福祉士養成施設に限らず、一般法人でも開講可能のため、価格競争が生じている。十分な実務経験を積んだ講師が少ない一般法人でも価格優位によって介護福祉士養成施設よりも受講者を集めている。 専修学校専門課程と比較して、圧倒的に時間数が少なく、国家試験対策が精一杯である。 受講者(実務者)の実務経験・専門知識の個人差が大きく、限られた時間数の中では、そのような個人差に対応することは難しい。
文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業の実証講座 ※「中核的専門人材事業実証講座」と略記	介護施設の実務在職者で、介護福祉士国家試験受験希望者(参加は任意)	-	〈人間と社会〉、〈介護〉、〈こころからだのしくみ〉の三領域に関する国家試験対策を行う。 ※2015年度は介護課程に関する演習も実施した。	①介護福祉士取得支援集合研修32時間(4日間) e-ラーニングによる独自支援(4ヶ月間) ②介護過程演習集合研修24時間(3日間) ※2015年度のみ	なし	無料	2014年度:①36名 2015年度:①14名②11名 ※全員介護職在職者	【課題】 介護福祉士受験の必修講座ではないため、参加者を募るのが難しかった。所属する施設側の都合もあり、スクーリングの日程確保も難しかった。 eラーニングによる独自に関しては、受講者から、学習活動を継続するために受講者同士で情報共有や意見交換するような場を設けてもらいたいという要望が出ていた。 介護過程の演習は、30%強の受講者から、内容は充実していたが時間が短いという意見が出ていた。

※専門課程の場合、通常、専門士の規定に沿って90分授業を2時間でカウントするが、ここでは他の教育プログラムと同様に60分を1時間で換算した。

【資料4】 介護福祉科カリキュラム

授業科目・単位数・時間数				〔学科名〕 介護福祉科			
領域	教育内容	開講科目名	授業方法	授業時間			
				総授業時間数	1年生	2年生	
人間と社会	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立	講義	30	30	0	
	人間関係とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーション	講義	30	30	0	
	社会の理解	社会の理解	講義	60	60	0	
	選択科目	情報処理	演習	60	60	0	
		介護施設レクリエーション	演習	30	30	0	
栄養・調理		演習	30	0	30		
人間と社会 計				240	210	30	
介護	介護の基本	介護の基本Ⅰ	講義	60	60	0	
		介護の基本Ⅱ	講義	120	60	60	
	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	講義	30	30	0	
		点字	演習	30	30	0	
		手話	演習	30	30	0	
	生活支援技術	生活支援技術Ⅰ	演習	90	90	0	
		生活支援技術Ⅱ	演習	90	90	0	
		生活支援技術Ⅲ	演習	90	0	90	
		リハビリテーション学	演習	30	0	30	
	介護過程	介護過程Ⅰ	講義・演習	60	60	0	
		介護過程Ⅱ	講義・演習	90	0	90	
	介護総合演習	介護総合演習Ⅰ	演習	30	30	0	
		介護総合演習Ⅱ	演習	90	0	90	
	介護実習	(介護実習Ⅰ)	介護実習ⅠA	実習	120	120	0
			介護実習ⅠB	実習	24	24	0
介護実習ⅠC			実習	144	0	144	
(介護実習Ⅱ)		介護実習Ⅱ	実習	184	0	184	
介護 計				1312	624	688	
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	発達と老化の理解	講義	60	60	0	
	認知症の理解	認知症の理解	講義	60	60	0	
	障害の理解	障害の理解	講義	60	30	30	
	こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみⅠ	講義	60	60	0	
		こころとからだのしくみⅡ	講義	60	0	60	
こころとからだのしくみ 計				300	210	90	
医療的ケア	医療的ケア	医療的ケア	講義	68	0	68	
		医療的ケア演習	演習	30	0	30	
医療的ケア 計				98	0	98	
合 計				1950	1044	906	